

第3章 自然生物の保全

我孫子市は、北側の利根川と南側の手賀沼（手賀川）という二つの大きな水系にはさまれています。地形は、台地へ谷津が深く入り組むような複雑で多様な地形でした。現在でも一部で谷津や崖線（はけのみち）が残っています。かつて湧水は、台地と低地の境付近で無数に見られ、手賀沼に流れ込んで、きれいな手賀沼を作り出していました。

かつての手賀沼とその周辺には、水生植物などの植物が繁茂し、植物を餌とする魚類やその魚類を餌とする鳥類など多種多様な生物が生息していました。水生植物には、「ガシャモク」や「テガヌマフラスコモ」など手賀沼など一部の地域にしか生息していない貴重な植物も見られました。

都市化と手賀沼の水質汚濁によって、我孫子市の生物種は減少していますが、谷津や手賀沼周辺には依然として貴重な生物も多く生存しており、谷津の保全や手賀沼の浄化・再生が我孫子の自然環境を守り生物多様性を保全するために重要となっています。

1. 外来生物対策

（1）外来生物とは

「外来生物」は、一般的に明治期以降に海外から入ってきた生物を指して使われています。

外来生物の中で、定着している・いないに関わらず、地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすものは、特に「侵略的外来生物」といわれています。

外来生物の中で、「生態系への影響、人の生命・身体への影響、農林水産業への影響」が著しい生物は、環境省によって「特定外来生物」に指定されています。「特定外来生物」は、「外来生物法」に基づき、原則飼育・栽培などが禁止され、違反内容によっては非常に重い罰則が課せられています。

一方、生態系への影響があると判断される外来生物でも、「特定外来生物」に指定した場合、遺棄などが大量におこなわれ、より一層生態系への影響が発生することが想定される種については、法規制の対象とならない「生態系被害防止外来種」に指定されています。

これらの生態系に影響を与える可能性がある外来生物は我孫子市内で多数発見されています。「特定外来生物」以外の外来生物については、生態系に与える影響についてまだ不明な点も多いため、我孫子市内での発見や増減などの経過を見守りながら、今後の対策について検討していく必要があります。

ペットや園芸作物として外来生物を飼育・栽培する場合は、珍しいから、きれいだからと安易に購入・移入せず、生態系に影響を与える可能性も考慮し、責任を持って飼育・栽培するように心がけてをお願いします。

（2）我孫子市で確認された特定外来生物

「特定外来生物」は、「外来生物法」に基づいた対応をする必要があります。

（分類群）

■両生類

①ウシガエル

■爬虫類

②カミツキガメ

■魚類

③オオクチバス

④コクチバス

⑤ブルーギル

⑥チャネルキャットフィッシュ

⑦カダヤシ

⑧オオタナゴ

⑨コウライギギ

■軟体動物等

⑩カワヒバリガイ

■植物

⑪ナガエツルノゲイトウ

⑫オオフサモ

⑬アレチウリ

⑭オオカワヂシャ

⑮オオキンケイギク

⑯オオバナミズキンバイ

■哺乳類

⑰アライグマ

(3) 我孫子市で生息が確認された生態系被害防止外来種

(分類群)

■哺乳類 フェレット

■爬虫類 アカミミガメ

■魚類 タイリクバラタナゴ

■甲殻類 アメリカザリガニ

■軟体動物等 タイワンシジミ種群

■植物 アメリカセンダングサ、エゾノギンギシ、オオカナダモ、オオブタクサ、
セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、ヒメジョオン、ホテイアオイ

2. 鳥獣の保護

(1) 鳥獣飼養登録

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律では、野生の鳥獣の飼養には登録が義務付けられています。また鳥獣の飼養登録等の権限は、「千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」により、県知事から市町村長に委譲されています。

(2) 傷病鳥獣救護

千葉県では、「傷病野生鳥獣救護事業実施要領」に基づき、鳥獣保護員及び県指定獣医師等の協力を得て、傷病鳥獣の救護を行っています。我孫子市内の県指定獣医師については、次のとおりです。

表 3-1 千葉県指定獣医師(我孫子市)

指定動物病院名	所在地	電話番号
我孫子動物病院	我孫子市栄19-6	04(7182)6035
セキ動物病院	我孫子市寿2-8-20	04(7182)9788

傷病野生鳥獣救護取扱い件数：平成28年度（2016年度）

・東葛飾地域振興事務所地域環境保全課扱い：9件・我孫子市手賀沼課扱い：14件

表 3-2 救護の窓口

窓 口 名	所 在 地	電 話 番 号
千葉県環境生活部自然保護課	千葉市中央区市場町1-1	043(223)2107
東葛飾地域振興事務所地域環境保全課	松戸市小根本7	047(361)4048
我孫子市環境経済部手賀沼課	我孫子市高野山新田193	04(7185)1111

3. 生き物の苦情・相談

我孫子市では自然と住宅地が隣接しているため、ヘビやカメ、タヌキに関する苦情・相談があります。ヘビやカメが生息しているのは自然が豊かである証拠なのですが、都市部では珍しいことかもしれません。

一方で、ムクドリやハクビシンなど都市化に順応して増えてきたとみられる生き物もあります。なかでも平成13年(2001年)より夏から秋にかけて天王台駅周辺に集まっていたムクドリが平成23年(2011年度)からは我孫子駅周辺にも集まるようになり、フンと鳴き声の苦情が寄せられるようになりました。我孫子市では都市型のムクドリの生態がまだわかっていないことから平成19年度(2007年度)から駅周辺に集まるムクドリの生態調査を継続し、また、平成27年度(2015年度)からは鷹匠によるムクドリの追払いを実施し、効果をあげています。広報・ホームページ等で市民にも情報提供を呼びかけています。

問い合わせの最も多い生き物はハチです。我孫子市では、民有地にあるハチの巣の駆除は行っていません。住宅の軒や庭木等生活に支障のある場所にできたハチの巣は、巣がある土地の所有者から駆除業者などに依頼し、駆除してもらっています。市では、広報・ホームページ等でハチの巣の早期発見・駆除を呼びかけ注意を促しています。

平成29年度(2017年度)はハチの問合せが198件ありました。

平成29年度(2017年度)の問い合わせは平成28年度(2016年度)の161件に比べて37件増加しています。

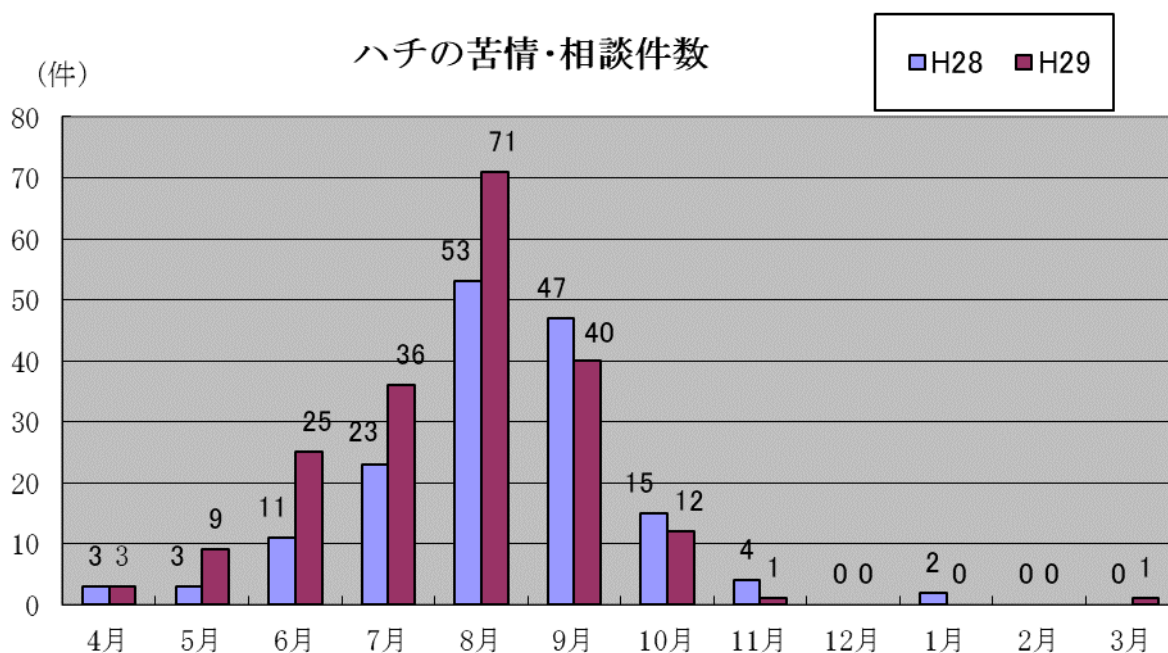


図 3-1 ハチの苦情・相談件数

※電話・窓口での問い合わせ件数のみを集計